



応急手当の重要性

・AEDで救える命があります・

第37回ボランティア研修会

六月二十日(日)九時三〇分から北九州パレスにて第三十七回ボランティア研修会を開催しました。事務局を含め二十一名が参加しました。今回は、四回目となりました、普通救命講習とAED講習を行いました。

講師に、小倉北消防署井堀救急隊消防司令補瓜生浩二氏と女性消防団員の田坂礼子氏、紀(きの)つや子氏の三名の方に指導をしていただきました。

初めに、山田理事長が、「何回か講習を受けている方や、今回が初めての方もいますが、AEDを使うことがいつもある事ではありませんが、いざという時に役に立てば良い」と思い講習会を開催しました」と挨拶しました。

瓜生氏より、「119番通報があつてから、救急車が到着するまでに全国平均で七分位かかります。今日講習する内容は、救急車が



瓜生浩二 司令補

到着するまでの七分間で皆さんが出来ることを勉強します」と話がありました。



救命講習Q&A

Q・北九州市には、救急車は何台あると思いますか？

A・北九州市にある救急車の数は二〇台です。五万人に一台の割合です。

Q・北九州市内で119番通報をするところの消防署に繋がると思えますか？

A・北九州市消防局に繋がります。最寄りの消防署に連絡が入ります。

Q・どうすれば、いち早く場所が特定できますか？

A・一番良いのは、家の固定電話です。固定電話だと電話した時点で、住所がすぐに分かります。素早く救急車が呼べます。



つなげ救急の連鎖

早い通報

おちついて、はっきりと119番に通報する。

早い応急手当

救急車の到着前に心肺蘇生などの応急手当を行う。

早い救急処置

救急救命士等の行う除細動などの高度な応急処置

早い医療処置

医療機関における医療処置

Q・AEDを誰にでも使用できますか？

A・一歳から使えます。電極パッドには大人用と小児用があり、大人用の電極パッドは一歳以上から使えますが、小児用の電極パッドは大人には代用出来ません。

Q・心停止でない人に使うとどうなりますか？

A・通電ボタンを押しても、電気ショックは作動しないようになっています。

Q・電極パッドを貼る前に注意することは？

A・傷病者の胸が濡れていると、電流が十分に心臓に伝わらない事があるので、水分はふき取ります。



研修会 参加者

Q・電極パッドやバッテリーの寿命はありますか？

A・バッテリーは五年に一度、パッドは二年に一度交換した方がいいです。電極パッドは、救助に使用した場合は、一回使い捨てです。新しいものに交換してください。

Q・ペースメーカーを装着している方も使えますか？

A・使えます。ペースメーカーがある位置より二・三センチ離れた所に電極パッドを貼ってください。

Q・除細動が必要ないといわれたら？

A・救急隊員が来るまで、電極パッドは貼ったままで、心臓マッサージや人工呼吸を続けてください。

続いて、DVDにて止血方法や、異物がのどに詰まったときの除去の仕方などを映像で見



て勉強しました。その後、休憩をはさんで、二班にわかれて、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使い方のお手本を見たあと、何度か講習を受けられた方や、初めて受けられた方も、講師の方々に説明を聞きながら全員で実技を行いました。

実技終了後は、質疑応答の時間があり、参加者の皆さんから活発に質問がなされ、分かりやすく丁寧に説明をしていただき、研修会は十二時一〇分に終了しました。

事務局より

お盆休みのお知らせ

8月13日(金)より
 8月16日(月)まで
 休みます。





障害者スポーツセンターの再整備が本格的に始まる

意見交換会に参加

六月二十四日(木)十八時三十分からウエルとばた八階会議室で障団連主催による障害者スポーツセンター再整備に関する意見交換会が行われ、約四十名が参加しました。「さわやか」から四名が参加しました。

初めに、障団連の古賀事務局長から挨拶があり、続いて、障害福祉課藤村課長からこれまでの経緯の説明

があり、「今までスポーツセンターの再整備については、十年近く障団連の皆さんと重要テーマとして相談を受けてきました。また、利用されている方からも多くの意見があり、検討をしてきました。市の方で検討委員会を設置し、その中で議論をし、平成二十年五月に検討結果の報告をうけ、障害者スポーツセンターの改修

の際には、障害者スポーツの振興の拠点にふさわしい設備になる様、屋内プールやトレーニングルーム等を設けると共に交通アクセスについて、配慮するなど、障害のある人に利用しやすい施設として再整備する事が強く望まれている」と報告がありました。

感想文

普通救命講習を受けて

小倉事業所 ボランティア

日野 さゆり

先日の普通救命講習に私は主人と参加しました。

以前から駅や様々な場所にAEDが設置されているのを見かけていて、使い方を知らずとも思っていたので、今回の講習はとても良い機会でした。

さて講習が始まり、ビデオで流れを見たり、講師の方から説明を受けて頭では分かっているつもりでも、実際に入るととまどってしまいました。

他の方の中にも何人かそういう様子があり、特に私の主人は皆さんが大笑いするほどガタガタでした。と

はいえ、楽しく受けることができて良かったです。

ビデオにもありましたが、ある方のインタビュで、「受けた講習のおかげで、いざというときに体が動いて人の命を救うことができました。」とありましたので、私も少し自信ができました。本当に良かったです。

まだ、受けていない方がおられましたら、次の機会に体験しては、いかがでしょうか。スタッフのみなさんありがとうございました。



次に、社会参加推進担当の矢野係長より、平成二十二年六月補正予算「障害者スポーツセンター整備事業」について、「現在の障害者スポーツセンターは、建築から三十年以上経過して老朽化しているうえに、屋内プールやトレーニング室がないため、障害のある方々の多様なスポーツニーズに対応できていない状況であり、この様な状況から、障害者スポーツセンターを再整備することとした。整備にあ

たっては、既存の建物(民間のスポーツ施設)を利活用する事とし、障害のある方々に配慮したバリアフリー化等の改修工事を行う」との説明がありました。

今年度は、バリアフリー化等改修工事の基本設計・実施設計等を行うとの報告もありました。

その後、質疑応答があり、少しでも障害者にとって使いやすい施設にしてほしいとの思いから活発な意見交換になりました。

第38回 ボランティア研修交流会 (バスハイク)

昨年好評でした! 「さわやか」 ミステリーツアー

を開催いたします

日にち 9月12日(日)

集合時間等詳細は、

後日お知らせ致します

ボランティアの皆様の

参加お待ちしております



お手本をしっかり見る



講師の方々



鼻をつまんで人工呼吸



1・2と心臓マッサージ

